



**消防職員が熱い想いを言葉に乗せて発表！
第48回新潟県消防職員意見発表会を新潟市で開催！**

2月7日（金）に、新潟県消防長会（事務局 新潟市消防局 企画人事課）の主催により第48回新潟県消防職員意見発表会が開催されます。

本発表会は、消防業務の諸問題に関するより一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的として、県内各地区から推薦された消防職員が、業務に対する提言や取組むべき課題等について自由に発表するものです。

最優秀賞受賞者は、4月25日（金）山形市において開催される、全国消防長会東北支部消防職員意見発表会に出場します。

新潟市消防局からは消防局企画人事課 中村 駿介（なかむら しゅんすけ）消防士長が新潟市代表として出場します。

つきましては、本発表会を取材のうえ、広く広報していただきたく、特段のご配慮をお願いいたします。



※令和5年度発表会

記

- 1 日 時 令和7年2月7日（金）午後2時30分から午後4時20分まで
（成績発表は、午後4時05分頃から）
- 2 場 所 新潟東映ホテル 2階「朱鷺の間」
新潟市中央区弁天2丁目1-6
- 3 発表者等 別紙のとおり
- 4 その他 取材いただける場合は2月6日（木）まで、下記担当あてご連絡くださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

新潟市消防局企画人事課企画係

担当 那須

電話 025-288-3210（直通）

消防職員意見発表者及びテーマ

順番	所属消防本部	階級	氏名	テーマ及び要旨
1	柏崎市消防本部	消防士長	石川 義郎	《 火災調査からの人命救助 》 コロナ禍の令和2年以降、近年火災件数は増加傾向にあります。それに対し、消防職員は若年化しており、火災調査技術や市民への対応の質低下が顕著であると考え、今回の施策を提案します。
2	村上市消防本部	消防副士長	大滝 涼平	《 基本からつながること 》 基本を確実に行うことで、人命救助に係る確かな活動が可能となります。基本から応用へとつなぐことの大切さを発表します。
3	魚沼市消防本部	消防副士長	五十嵐 竜斗	《 言葉で伝える 》 消防活動では言葉でのみ伝える場面があります。相手に伝わりやすく言語化することは、知識技術の向上と同様に重要であると考えます。
4	長岡市消防本部	消防副士長	安部 亮太	《 その住宅用火災警報器であなたの大切な家族を守れますか 》 連動型住警器の有効性が広く認知されていないことに着目し、設置を推奨する取り組みを提案することで、普及啓発を図るものです。
5	佐渡市消防本部	消防士	中川 俊希	《 指導とパワハラについて 》 実体験を通して感じた「指導」と「パワハラ」の違いを次世代職員教育への教訓とします。
6	上越地域消防局	消防副士長	上野 直	《 離職率軽減につながる雰囲気づくり 》 現代社会で問題とされている若手職員の離職。消防吏員特有の現状と、離職率の軽減につながる取組について発表します。
7	五泉市消防本部	消防士	高岡 諒太郎	《安定した職場を維持するために》 消防の受験者数が減少している今、その問題に対して私たち消防職員が出来ることは何か、どのような広報活動をするべきなのか発表します。
8	新潟市消防局	消防士長	中村 駿介	《 消火器防災スタンプラリーで消火器の意識化を！ 》 普段意識の外側にある消火器をより認識してもらえよう、スタンプラリーを活用した施策による市民防災力向上を提案します。
9	十日町地域消防本部	消防副士長	桑原 友幸	《 個人デバイスが創る、災害時の新しい通信網について 》 発災後、通信環境が不安定な状況でも、個人デバイスを自動的に切り替えることにより、通信網を途絶えさせないシステムの構築を提案します。
10	新発田地域広域事務組合消防本部	消防副士長	廣瀬 翼	《 「未来を守る」～防災意識を高めるキッカケ～ 》 地域全体の自助・共助を育むために小中学生を対象にした防災講話を実施し災害への備えを学ぶことの重要性について提案します。

意見発表者プロフィール

- 1 消防士長 いしかわ よしお
石川 義郎
(柏崎市消防本部)



平成21年4月に消防士を拝命。現在は西山分遣所に勤務し消防業務全般にわたり精力的に取り組んでいます。発表テーマのように常に問題意識を持ち、責任感が強く何事にも旺盛に取り組む姿勢は、職員からの信頼も厚く将来を囑望されています。家庭では2児の父親として育児にも励み、公私ともに充実しています。

- 6 消防副士長 うえの なお
上野 直
(上越地域消防局)



平成27年に消防吏員として採用され、平成30年度消防救助技術大会では引揚救助種目で東北大会出場経験があり、その経験を生かし、日常業務において、後輩の指導育成に取組んできました。現在は、庶務担当として業務に励んでおり、誰に対しても誠実で先輩や後輩からの信頼も厚く、将来を期待される若手職員の一人です。

- 2 消防副士長 おおたき りょうへい
大滝 涼平
(村上市消防本部)



平成28年4月に消防士を拝命。令和6年4月救急救命士の資格を取得しました。現在は消防署防災安全室に所属、村上総合病院内の救急ワークステーションに勤務し、救急現場の第一線で活躍しながら救急技術のさらなる向上と地域医療体制の充実に努め、地域住民や後輩職員への指導・鞭撻に取り組む将来を期待されています。

- 7 消防士 たかおか りょうたろう
高岡 諒太郎
(五泉市消防本部)



令和5年4月に消防士を拝命。現在は救助隊員として訓練や研修など積極的に取組み火災現場をはじめ各現場の最前線で活躍しています。真面目な性格で所属の警防業務においても真摯に取組む姿勢や言葉遣いなどマナーの面でも若手職員の模範となり、上司からの信頼も厚く一日置かれ将来を期待されています。

- 3 消防副士長 いからし りゅうと
五十嵐 竜斗
(魚沼市消防本部)



平成28年に消防職員に採用され、採用から10年近く経ち、現在では本部業務、署業務とも中心的な役割を担っています。後輩にも熱心な指導を行うとともに上司先輩からも信頼の厚い職員であり、これからの魚沼市消防本部を背負って立つ職員の一人です。

- 8 消防士長 なかむら しゅんすけ
中村 駿介
(新潟市消防局)



令和元年に消防士を拝命、現在は消防士長に昇任し、企画人事課で新任者の研修や安全衛生を担当しています。温厚誠実な人柄に加え、市の発展に向けた熱い信念を併せ持ち、上司同僚からの信頼は厚く将来が囑望される職員です。また、家庭では昨年第1子が誕生し、良き父親として公私ともに充実した生活を送っています。

- 4 消防副士長 あべ りょうた
安部 亮太
(長岡市消防本部)



県外の消防本部で7年間勤務した後、令和3年に改めて長岡市で消防士を拝命し、現在は救助隊員として日々率先して自己研鑽に励み、その姿勢は同僚や若手職員の良き模範となっています。市民に対して常に誠実かつ公正に接し、業務に対しては責任感が強く、上司からの信頼も高い将来を有望視された職員です。

- 9 消防副士長 くわばら ともゆき
桑原 友幸
(十日町地域消防本部)



平成26年に消防士を拝命以来、消防業務全般にわたり積極的に取り組んでおり、現場活動や訓練はもちろん、総務課企画広報係としても執務を行う中で、上司及び係員からも強く信頼を寄せられているとともに高く評価されています。何事にも実直で前向きに取組む姿勢からも、その将来性を期待されている職員です。

- 5 消防士 なかがわ としき
中川 俊希
(佐渡市消防本部)



平成30年4月1日付けで、佐渡市消防本部に消防士として拝命以来7年、現在は危険物係として業務に携わるほか、救急救命士として救急現場に出場し、また、救助隊員として過酷な災害現場にも出動しています。職場を離れると、2児の父親で、スポーツをこよなく愛する将来有望な職員です。

- 10 消防副士長 ひろせ つばさ
廣瀬 翼
(新発田地域広域事務組合消防本部)



平成27年に消防士を拝命。現在は消防隊、救急隊、水難救助隊として災害対応に当たっている一方、プライベートでは2児の父として子育てに奮闘中です。また後輩の育成にも力を入れており、業務に実直に向き合うその姿勢は後輩職員の良い模範であり、今後の活躍が期待される職員です。